

日本ウォーターズ

LS-2-2

漢方薬の薬物動態研究に高分解能質量分析計を利用した新たな挑戦

演者：松本隆志 様

株式会社ツムラ

漢方研究開発本部 ツムラ漢方研究所

漢方システムバイオロジー二部 薬物動態グループ

日時：2020年3月27日（金）12:30～13:20

会場：A16（九州大学 伊都キャンパス 教室番号: 2306 センター2号館3F）

漢方薬は古来より日本で発展を遂げ、これまでヒトの様々な疾患の治療に用いられてきました。近年、漢方薬の作用機序を解明するため、数多くの薬理研究及び薬物動態研究がなされてきました。しかしながら、多成分系である漢方薬の作用機序を包括的に明らかにすることは容易ではなく、薬物動態研究においては主要成分や製剤中含量の多い数種の成分に限定した分析（targeted LC-MS/MS分析）がなされてきました。本セミナーでは、漢方薬の薬物動態研究に高分解能質量分析計を利用し、投与後の血中に存在する成分の網羅的な分析（non-targeted LC-MS/MS分析）を行った事例をご紹介します。また、高分解能質量分析計を利用した質量分析イメージング分析による漢方薬成分の組織分布を明らかにした事例についてもご紹介させていただきます。